

[専門教育関連科目/環境の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健統計学 I	NSF32_001	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
藤井 充	306	mitsuru.fujii	水曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	看護職の業務において、根拠に基づいた対応が必要になってきている。保健統計学 I では、看護業務や看護研究において必要となる基本的な保健統計の知識を修得することを目的とする。対面授業(講義)、確認テストにより、保健統計学による健康事象の把握、分析方法について理解を深める。				
学習上の助言	1年次の講義「統計分析法」で学んだ統計処理の基本的知識が必要となるため事前に復習しておくこと。				
教科書	やさしい保健統計学 [改訂第5版増補] 懸俊彦 南江堂 2019				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	保健統計を正確に読み解くことができる。		HSU (2)、NS (5)、NS (6)		
②	各種データについて保健統計を応用して分析することができる。		HSU (2)、NS (5)、NS (6)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	保健統計学の基礎について学ぶ	講義、演習	基本的な用語とデータについて理解すること。	4	
2	代表値について学ぶ	講義、演習	平均値、中央値、最頻値について理解すること。	4	
3	散布度について学ぶ	講義、演習	標準偏差について理解すること。	4	
4	相関について学ぶ	講義、演習	相関係数と回帰直線について理解すること。	4	
5	確率分布の基礎について学ぶ	講義、演習	確率の概念について理解すること。	4	
6	確率分布の種類について学ぶ	講義、演習	正規分布をはじめとする主な確率分布の性質について理解すること。	4	
7	母集団の推定について学ぶ	講義、演習	母集団の平均、比率、相関の推定について理解すること。	4	
8	仮説検定について学ぶ	講義、演習	仮説検定の基本的な考え方について理解すること。	4	
試	定期試験、達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育関連科目/環境の理解]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	20	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験(計算問題を含む)の正答率で評価				正答率が悪い問題についての解説
	②	✓					
レポート	①						
	②						
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①	✓	毎回の講義の際に課す課題の提出状況と正答率を評価				課題についての説明解説
	②	✓					
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容は、講義の進行度によって前後する可能性がある。 ・対面授業において、席の指定、マスクの常時着用。定期的換気により感染防止に努める。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢の変化により再度シラバスの変更がありうるので注意すること。 							
教員の実務経験：公衆衛生医師として、厚生労働省、保健所等に40年間勤務 実践的授業の内容：保健所での経験をもとに、看護職として現場で経験する可能性があることを取り上げ理解を深める。							